

一次エネルギー消費量計算結果(住宅版)

1. 住宅タイプの設計 次エネルギー消費量等

(1)住宅タイプの名称(建て方)	土支田4丁目新築工事(戸建住宅)			
(2)床面積	主たる居室	その他の居室	非居室	合計
	34.37㎡	35.85㎡	26.28㎡	96.50㎡
(3)地域の区分/年間の日射地域区分	6地域			*****
(4)一次エネルギー消費量(1戸当り)			設計一次 MJ]	基準一次 MJ]
	暖房設備		19182	16207
	冷房設備		4608	5960
	換気設備		3684	3646
	給湯設備		25212	22906
	照明設備		4192	10198
	その他の設備		20121	20121
	発電設備の発電量のうち自家消費分	太陽光発電(PV)	--	--
		コージェネレーション設備(CGS)	--	--
	コージェネレーション設備の売電量に係る控除量*1		--	--
(5)合計	PVおよびCGSを対象とする場合		76998	79038
	CGSを対象とする場合		76998	

本計算結果は、当該住戸が建設される地域区分及び設計内容に一定の生活スケジュールに基づく設備機器の運転条件等を想定し計算されたもので、実際の運用に伴うエネルギー消費量とは異なります。

(4)の各用途内訳を足した値と合計は四捨五入の関係で一致しないことがあります。

* :コージェネレーション設備が発電した電力を発電するために要した一次エネルギー消費量相当量です。

2. 判定

適用する基準			一次エネルギー消費量 GJ/(戸・年)]		判定結果
			設計一次エネルギー	基準一次エネルギー	
建築物省エネ法	建築物エネルギー消費性能基準	H28年4月以降	77.0	79.1	達成
		H28年4月現存		85.0	達成
	建築物エネルギー消費性能誘導基準	R04年10月以降	77.0	67.3	非達成
		R04年10月現存		79.1	達成
エコまち法	エネルギーの使用の合理化の一層の促進のために誘導すべき基準	R04年10月以降	77.0	67.3	非達成
		R04年10月現存		73.2	非達成
	低炭素化の促進のために誘導すべきその他の基準		77.0	49.6	非達成

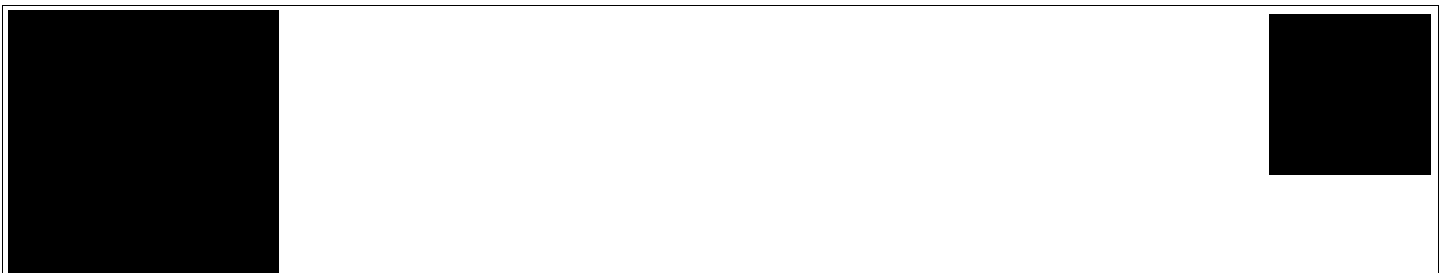
一次エネルギー消費量の値は小数点以下一位未満の端数を切り上げているため「1 住宅タイプの設計一次エネルギー消費量等」の(4)の合計と一致しないことがあります。

3. BEI

適用する基準			一次エネルギー消費量(その他除く) GJ/(戸・年)]		BEI
			設計一次エネルギー	基準一次エネルギー	
建築物省エネ法	建築物エネルギー消費性能基準	56.9	59.0	0.97	
	建築物エネルギー消費性能誘導基準	56.9		0.97	
エコまち法	エネルギーの使用の合理化の一層の促進のために誘導すべき基準	56.9		0.97	

BEI 計算時の一次エネルギー消費量はその他のエネルギー消費量除きます。建築物エネルギー消費量性能誘導基準には Vによる削減効果を除外して評価します。

QRコードは 動処理のために用います。



4. 住宅タイプの仕様

(1) 暖冷房仕様

外皮／設備項目		外皮／設備の仕様
A.外皮	外皮性能の評価方法	当該住戸の外皮面積を用いて外皮性能を評価する
	外皮面積の合計	283.16 m ²
	外皮平均熱貫流率	0.74 W/m ² K
	平均日射熱取得率	暖房期の平均日射熱取得率(ηAH): 1.4 冷房期の平均日射熱取得率(ηAC): 1.7
	通風の利用	主たる居室:評価しない、または利用しない その他の居室:評価しない、または利用しない
	蓄熱の利用	評価しない、または利用しない
	床下空間を経由して外気を導入する換気方式の利用	評価しない、または利用しない
B.暖房設備	暖房方式	設置しない
	設備仕様	
C.冷房設備	冷房方式	設置しない
	設備仕様	

(2) 換気仕様

設備項目	設備の仕様
D.換気	壁付け式第二種換気設備、または壁付け式第三種換気設備 換気回数:0.5回/h
E.熱交換	評価しない、または設置しない

(3) 給湯仕様

設備項目		設備の仕様
F.給湯設備	給湯設備・浴室等の有無	給湯設備がある(浴室等がある)
	熱源機	熱源機の種類: ガス従来型給湯機 効率: 評価しない ふろ機能の種類: ふろ給湯機(追焚あり)
	配管	評価しない、または先分岐方式
	水栓	台所: 評価しない、または2バルブ水栓 浴室シャワ : 評価しない、または2バルブ水栓 洗面: 評価しない、または2バルブ水栓
	浴槽	評価しない、または高断熱浴槽を使用しない

(4) 照明仕様

設備項目		設備の仕様
G.照明設備	主たる居室	設置しない
	その他の居室	設置しない
	非居室	すべての機器においてLEDを使用している 人感センサ :評価しない、または採用しない

(5) 発電仕様

設備項目		設備の仕様
H.太陽光 発電設備	方位の異なるパネルの面数	評価しない、または設置しない
	その1	*****
	その2	*****
	その3	*****
	その4	*****
	パワコン	*****
I.コ ジェネレ ションシステム		なし

(6) 太陽熱利用設備仕様

設備項目		設備の仕様
J.液体集熱式太陽熱利用給湯		評価しない、または設置しない
K.空気集熱 式太陽熱利 用設備	設備仕様	評価しない、または設置しない
	集熱器群の数・方位	*****
	集熱器群1	*****
	集熱器群2	*****
	集熱器群3	*****
	集熱器群4	*****

5. 参考値

(1) 設計二次エネルギー消費量等(参考値)

設計二次エネルギー消費量			コージェネレーション設備 の売電量に係るガス消費量 の控除量 MJ] *2	未処理負荷の 設計一次エネルギー 消費量相当値 MJ] *3
消費電力量 kWh] *1	ガス消費量 MJ]	灯油消費量 MJ]		
4919	28087	0	0	905

* :当該住戸で消費する電力量から 太陽光発電設備およびコージェネレーション設備による消費電力削減量(発電量のうち 当該住戸で消費される自家消費分)を差し引いた値を表記しています。

*2:コージェネレーション設備が売電した電力を発電するために要したガス消費量相当量です。

*3:未処理負荷とは 当該住戸に設置された暖冷房設備機器で処理できなかった負荷を指し 負荷を処理した暖冷房設備機器とは別の 何らかの暖冷房設備で処理したと仮定して 設計一次エネルギー消費量相当値に換算しています。

(2) 発電量・売電量(参考値) *1

発電量 MJ]		売電量 MJ]	
コージェネレーション	太陽光発電	コージェネレーション	太陽光発電
--	--	--	--

* :すべて一次エネルギーに換算した値